



ものづくりは、材料や部品を具体の形あるものとして仕上げ、機能(生命)を宿す作業だと思います。



メイカーズチャレンジに参加

アプリ開発など、ソフトウェアの知識はパソコンがあれば独学でも学べます。しかし、センサーやモーターの制御などハードウェアの知識はその特性を知り動かしてみないとわからないところがあります。工業高校ではこの両方を学べることに大きな特徴があります。



アイデアを協議する卒業生

最近ではあらゆるところでIoT (Internet of Things)や DX (デジタルトランスフォーメーション)という言葉が聞きます。これからのものづくりにはネットやWebを活用するシステムづくりが求められています。このような時代に対応した体験型の研修が今年度も鳥取を含めた全国8カ所で開催されました。詳細は <https://webiotmakers.github.io/2023/> のサイトをご覧ください。

鳥取でも多くの大学生、高校生が参加して次のように実施されました。

2023年12月24日(日)	2024年1月6日(土)	2024年2月11日(日)~12日(祝/月)
ハンズオン講習会	ハンズオン講習会&アイデアソン	ハッカソン
鳥取大学 鳥取キャンパス 米子工業高等専門学校	境港市民交流センター みなとテラス	鳥取大学 鳥取キャンパス
ボードコンピューターやセンサーなどの教材を使い、IoT システム開発を実践的に学習	チームごとに地域の課題や身近な問題を探り、講習で学んだ技術を活用して、その解決策となるようなIoT デバイスの仕組みを検討し、材料の調達やチーム内での役割分担など、ハッカソンに向けて準備	チームで練り上げたアイデアをもとに、ハードウェアとソフトウェアの両方を実装(プロトタイプング)し、IoT作品として完成

米工の生徒や卒業生も参加しました。卒業生が参加したチームは、夜道で人を感知し、その情報をネットで共有して複数のあんどの点灯、消灯を制御しました。米工の生徒が参加したチームは高齢者を遠隔で見守るシステムを作成しました。温風ヒーターにカメラを取り付けて高齢者の様子を確認し、必要なときには遠隔でスイッチを切ることができます。また、ガスセンサを取り付けて室内のガス濃度が高くなると自動



ネットワークあんどん



センサ付見守りヒーター

でヒーターのスイッチを切るなどの工夫をしていました。この作品は審査員特別賞(2位相当)に輝きました。参加者の今後の活躍が楽しみです。

1年生、2年生の皆さんも来年は是非参加してください。とても学びの多い研修だと感じました。



審査員特別賞を受賞したチーム

校長 松川 明義

【行事予定】13(火)：3年出校日

14(水)~17(土)スキー全国高校選抜大会(長野)

